

びぜんこくぶんじあと
備前国分寺跡

りょうぐうざんこふん
両宮山古墳

し せ き

史跡だより 第20号



「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

吉備津彦命きびつひこのみことによる鬼退治伝説は、実は大和やまと（現在の奈良県）と吉備（現在の岡山県と広島県の東側）の対立を反映したものとされています。『古事記』『日本書紀』の内容などから、吉備は大和に対抗していたとみられ、こうした歴史をもとに吉備地方に伝わる古代の鬼、温羅うらが吉備津彦命と戦い敗れるという伝説が生まれたようです。

また、吉備が大和に対抗できる強大な勢力であったことは、巨大な墓の存在からもうかがえます。特に「吉備の三大古墳」と呼ばれる造山古墳つくりやま（岡山市）・作山古墳つくりやま（総社市）・両宮山古墳（赤磐市）は、小高い山と見間違ふほどの大きさで近畿地方の大王墓にも匹敵します。

両宮山古墳と市内の飲食店がコラボレーション

令和3年10月から12月にかけて、岡山市・倉敷市・総社市・赤磐市では、日本遺産とコラボレーションした特別なグルメを販売していました。赤磐市では、3店舗の飲食店が日本遺産の構成文化財である両宮山古墳にちなみ、古墳グルメを販売。皆様のご協力で日本遺産が盛り上がりました。

残念ながら、古墳弁当と古墳オムライスが期間限定のため販売が終了しましたが、両宮山古墳のすぐ南にある「肉の太田」ではおやつ感覚で食べられる「古墳コロッケ」を販売中です。



古墳弁当



古墳オムライス



古墳コロッケ



令和3年度 両宮山古墳工事現場説明会を行いました

両宮山古墳は、長さ206mの墳丘^{ふんきゅう}に二重の周濠^{しゅうごう}を備えています。外濠^{がいごう}は現在一部水田の地下に埋まっていますが、内濠^{ないごう}は農業用のため池として水をたたえ、この古墳独特の美しい景観を生みだしています。

一方で、水をたたえた内濠は墳丘裾^{すそ}を徐々に浸食し、崩壊の危機に瀕^{ひん}しています。そこで両宮山古墳を守るため内濠の整備工事を平成29年度から毎年行っています。



令和3年度工事の完了状況（前方部）



説明の様子



令和4年1月22日に現場説明会を行いました。小学生から70代まで幅広い年齢層の方々が参加し、職員の案内で古墳を巡りながら、墳丘^{ふんきゅう}に設けられたフトンかごなどの様子を見学しました。

工事現場の状況や普段見ることのできない内濠を間近に見て、保存工事の必要性を改めて認識する貴重な機会となりました。

←フトンかごの枠

ローカルアラカルト vol. ④ 馬屋・和田の常夜燈^{じょうやとう}

馬屋と和田の道端に立つ石灯籠^{いしどうろう}を知っていますか？

この石灯籠は常夜燈（街道沿いなどに置かれ、夜間の安全のため一晩中付けておく灯り^{あかり}）として、文化年間（約200年前）に倉敷往来^{くらしきおうらい}沿いに置かれました。

倉敷往来は岡山城下から牟佐・馬屋・町苅田・周匝^{まちなか}を経て美作倉敷（現・林野^{はやしの}）へ至る道で、当時の主要な道の一つでした。この2基の常夜燈は、馬屋から和田の山際を通して足王神社へ続く倉敷往来を今へ伝えてくれます。



馬屋



和田

赤磐市教育委員会 令和4年4月26日発行

〒709-0816 岡山県赤磐市下市337番地

TEL 086-955-0710

URL <https://www.city.akaiwa.lg.jp/bunkazai/index.html>